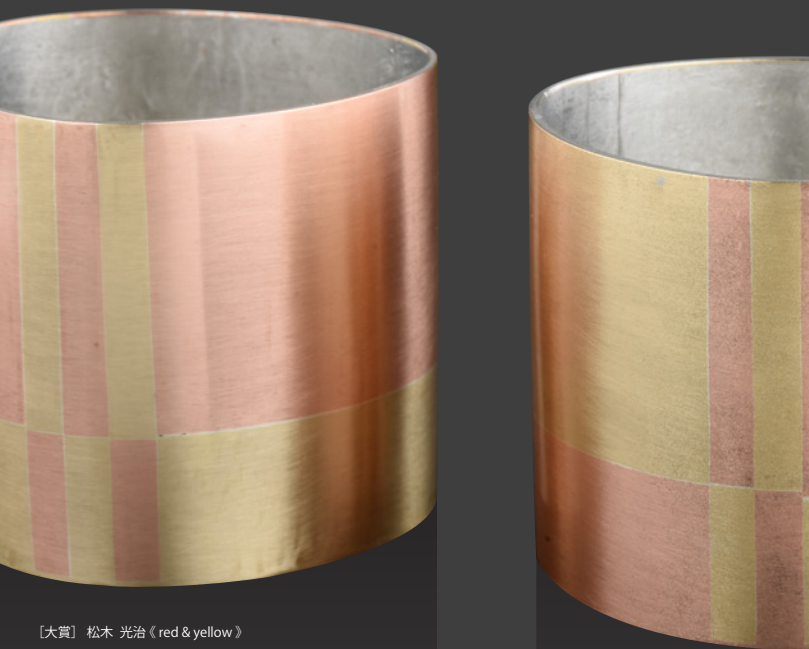


手のひらサイズのアート

世界から応募を募り

国際展として6回目の開催。

多彩な作品・意匠の競演!!



[大賞] 松木 光治《red & yellow》

# 第6回 そば猪口 アート 公募展

主 催 = 白鷹町文化交流センター  
そば猪口アート展実行委員会  
安曇野高橋節郎記念美術館  
協 力 = 瀬戸市新世紀工芸館  
平成記念美術館ギャラリー  
信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会

※会期中展示入れ替えあり

# 梅津五郎絵画展

早春のよろこび

重厚な絵肌と非凡な色彩感覚で妙趣に富んだ作品を多く残した梅津五郎の作品から、冬と春の作品を紹介します。鋭い感性でモチーフを捉え、湧きあがる感情をそのままに描き切った作品は、どれもエネルギーに満ち溢れ、見るものに感動をもたらします。

主催 || 白鷹町文化交流センター



梅津五郎《樹氷(蔵王)》1991

2018年3月4日[日]～3月25日[日]

開館時間 = 9:00～17:00

休館日 = 月曜日

観覧料 = 一般個人200円 高校生以下無料

白鷹町文化交流センター あゆーむ

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

お問合せ = TEL.0238-85-9071

# 梅津五郎絵画展

## 早春のよろこび

### 梅津五郎プロフィール

1920年(大正9)山形県白鷹町浅立に生まれる。18歳の時画業を志して上京。森田茂、熊岡美彦の両氏に師事する。

東光展と日展を主な発表の場として、1956年(昭和31)の第12回日展におい

て、自らが働く中華料理屋の厨房を描いた「調理場」で特選を受賞、独特の生活感が評価される。

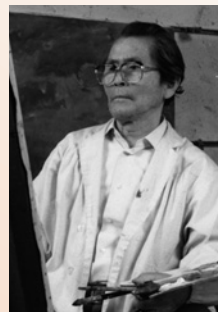
1962年(昭和37)、47歳の時にフランスに留学。フランス滞在中にサロン・デ・ボザール展に初出品し、準会員に推挙される。フランス滞在以後色彩が豊かで

鮮やかになり、帰国後極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは、日本の風景に加え、自らのアトリエ(新宿区下落合)から見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与

などの重責を担いながら一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈。2003年(平成15)85歳で没する。



梅津五郎



[大賞] 松木 光治《red & yellow》



[準大賞] 井之下 翔《夕景》



[優秀賞] 今井 美幸《花》



[優秀賞] 影山 誠《白磁彫紋そば猪口》

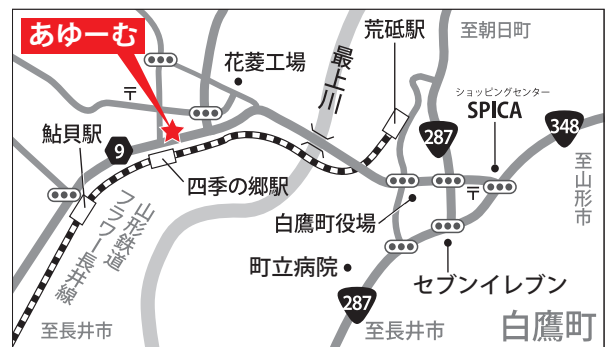
# 第6回そば猪口アート公募展

本公募展は、長野県安曇野市の「高橋節郎記念美術館」と「そば猪口アート展実行委員会(安曇野市、東京藝術大学、安曇野高橋節郎記念美術館友の会、現代工芸美術家協会長野会、安曇野スタイルネットワーク)」が主催して、世界から応募を募る公募展です。昨年に引き続き、巡回展の第4回目として、白鷹町文化交流センターで開催するものです。

今年は、28都道府県と海外から、210点の応募作品が寄せられました。応募者の年齢も20代から80代までと幅広く、出品作のレベルも年々上がっています。

その中から造形性、表現力、感性、使いやすさなど様々な視点から厳選された126点が入選、内12点が受賞となりました。

約半数を3月15日(木)まで。3月16日(金)から残りの半数を入れ替え展示いたします。個性あふれる「そば猪口アート」をどうぞお楽しみください。



## 白鷹町文化交流センターAYU:Mu

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

■お車でお越しの場合/山形市より国道348号線で約35分

■電車でお越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線

[荒砥行き]で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

お問合せ=TEL.0238-85-9071